

働きやすい職場無くして事業継続無し！

企業名	(株)和孝運輸	所在地	仙台市
業種	貨物自動車運送業	労働者数	28名
電話番号	022(388)7330	ご担当者	代表取締役 馬場 学

(取組の目的)

東日本大震災により、事業の継続は困難な状態に直面した、しかし労働者の皆のおかげで早めに事業を再開することができた。労働者が存在して、初めて事業を営める、継続することができる。事業主の責務は、労働者を守ること、そのためには働きやすい職場作りが必要である。

(取組内容)

○ DX化の推進

DX化により、経営方針・経営目標とそれに沿った労働者の目標が明確になり、業務の標準化、可視化及び情報の共有化が進み、効率的な業務実施により労働時間が短縮し、ストレスの軽減や社内コミュニケーションの向上につながった。

・ 効率的な業務実施

ペーパーレス化の徹底により、指示書などスマートフォンで行い、配車表、給与明細表及び日々の事務連絡等もデジタルで行うことで、運転者は円滑な運行ができ事業場帰着後の業務指示の時間が少なく、極力即時に退勤できる状態となっている。

・ 社内コミュニケーションの向上とストレスフリー効果の実現

配車表は、1週間以上前にアップし、早めに運転者が確認できる状態にして、併せて運転者のグループ化により、変更が必要な場合は、必要に応じてグループ間で調整、結果として運転者はストレスを溜めることなく運転業務に従事することができる。

○ 運転者の多能工化

全運転者が全種類の保有車両（2、4、10ト、トレーラー）を乗車可能な体制を構築した。
柔軟な配送割当が可能となることで、取引先ニーズに迅速に対応できる。

時間単価制度を基本に、車両別の運転手当等を加算することで賃金の公平感を保持している。

○ 働きやすい職場づくり（ストレスフリーを目指して）

- ・ 上記のグループ間での配車調整を行っていることに加えて以下の取組を実施。

・ 主要顧客（荷主等）と定期的な研修会の実施

主要顧客（荷主等）と定期的に安全衛生に関する研修を実施している。顧客に運転者の安全に係る事情を理解してもらうことで、運転者がストレスを溜めない適切な運行環境づくりに寄与している。（直近では熱中症対策に係る研修を実施）

・ 事故発生時等でも万全なフォロー体制を構築

ドライブレコーダーのデジタル録画記録は、リアルタイムで本社も共有している。事故等が発生した場合でも、現場状況は本社担当者がフォロー可能な状態であり、運転者のストレス軽減に寄与している。

・ 労働者研修（安全会議）の毎月開催

労働者の意識改革を目的として、労働者参画型形式で基本業務（例えばトラック運転者の法定12項目等）を確認、ディスカッションも交えて実施している。労働者間の風通しを良くして、ストレスフリーに効果がある。

(取組の効果・結果)

- 直近令和5年8月の1か月で時間外労働時間数10時間以上の労働者はいない。取組み前は平均20時間以上だったので半分以下となった。
- 働きやすい職場認証制度（運転者職場環境良好度認証制度）は、二つ星を取得した。

(今後の取組)

- 時間外労働時間数の削減に関しては、一定の効果は見られるものの、年次有給休暇の取得率は約15%と、目標の70%には遠く及ばない。優先的に、取り組んでいきたい。

(荷主に対して)

- 「事業継続は労働者が存在して初めて可能となる」との馬場社長の信念の下、荷主とはウィンウィンの関係をいかに構築するかを考えている。過剰サービスではなく、質・効率の高いサービスを継続して提案することに努力している。